



syoun

旬



2018 April

No.548

地域がん診療連携拠点病院・基幹型臨床研修病院・協力型臨床研修病院・地域医療支援病院・災害拠点病院・熊本DMAT指定病院・救急指定病院

理念 140年の歴史と設立の経緯を忘れず全人医療を提供します

基本方針

患者中心医療

患者の人権と意思を尊重します

患者診療3本柱

がん・救急・予防医療を中心に
医療機能の充実を図ります

完結型医療

地域の医療機関との連携を行い
安心できる医療の展開を行います

社会貢献

災害医療派遣・医療情報公開・医療
ボランティアの活動を行います

医療人育成

医療に携わる喜びが持てる医療人の
育成を行います

公立人吉病院開院から140年目を迎えて



西 道庵

昭和16年に編纂された球磨郡誌の序文には、当地のことを秀麗なる山水と共に球磨の誇るものはその人情風俗の美... 人の和による自彊体制と書いてあります。

また、公立人吉病院については1頁半にわたり詳しく記載があり、沿革には前身は明治7年開院の私立人吉病院としながらも何故か江戸末期末文久3年(1863年)の三宅莞齋開業から始まっています。そして三宅の後を明治3年まで引き継いだ谷地洋及、二人の後を継ぐ医師がいなかったため、人吉出身で江戸遊学中であった西道庵が呼び戻され私立人吉病院の院長となっています。当時すでに人吉でも西洋医学の必要性を感じ蘭方医の確保、病院の開設に奔走した人々がいたことが記されています。3名の出資で創設した私立人吉病院は明治10年5月に西南の役により人吉の街と共に焼失しましたが、早くも10月には公立病院設立の気運が高まり、翌年5月から3か月で病院建設を決議し、その資金はすべて郡内各村各世帯三銭ずつと篤志家の寄付で賄うことで県の許可を得、その3か月後の10月8日には現在地(老神町)で開院式を行っています。この短期間での病院建設を見ても住民の病院

建設に対する熱意が伺えますし、公に頼らず自分たちの力、資金で公立病院を建設するという自立の精神、互助、共助の気持ちが表れています。林業、農業などの発展と人口増で医療機関も増加し昭和16年には公立人吉病院、明治28年ごろ創立の公立多良木病院、一勝地村立病院、人吉鉄道病院と公立診療所4軒、私立診療所39軒とその数も増加しました。しかし、人口分布の変化や交通機能の向上により医療機関の設置も変化し、近年では産業衰退により人口が減少し高齢化も進み病院医療から在宅医療・介護への転換も求められています。今求められている地域づくり・地域包括ケアは、明治維新の先人達が医療や教育、雇用など暮らしに必須な要素を整備してきたように人情豊かな球磨地方独自の力で取り組んでいかなければならないと考えます。これからの地域医療・介護・福祉に対し行政・医療介護施設・住民・民間企業等全体で和を以て協働し、次代の後継者に自然豊かな里を手渡しましょう。(球磨郡誌以外にもたくさん資料がありますが、詳細や氏名、参考文献等を紙面の都合上省略させていただきました。)



院長 木村 正美

平成 30 年度診療報酬改定について

患者の皆さまが受ける診察や検査、投薬などの医療行為には細かく値段が設定され、窓口でお支払いいただいております医療費は、それぞれの医療行為ごとの値段の合計を健康保険の負担割合に応じて請求をさせていただいております。その診療行為の値段の基礎が診療報酬となります。

新聞やニュースでご存知の方も多いと思いますが、診療報酬は2年に1度改定（見直し）があり、医療の進歩や国の経済状況、医療政策等々が加味され、新規の診療行為や値段が高くなる項目、低くなる項目など、中医協と呼ばれる厚生労働大臣の諮問機関が審議し、その結果同大臣が決めた公の価格であります。本年はその改定

年となり、4月1日より新しい診療報酬で医療費の計算をしております。

今回の改定では、お薬などの金額（「薬価」と呼ばれます。）は下がるものの、全体では前回改定時よりプラス0.55%となっており、そのため医療費のお支払いが若干ではありますが高くなるケースもございます。

会計では、細心の注意を払い計算をしておりますが、4月当初はその確認作業等で、待ち時間が普段よりもかかる場合も予測されます。金額などご不明な点は会計の職員までお尋ねください。ご理解とご協力をお願い致します。

医事課 木下 学

地域医療サポーター開催のお知らせ

今年度、地域医療サポーターの年間の計画をお知らせします。

※地域医療サポーターとは？

地域住民の皆様が安心して医療を受けられるように、病気予防のための知識を習得し、自己研鑽に努めるとともにそれを地域へ発信していく役割を担う方です。



《講座内容》

当院は、地域サポーターの育成のため、様々な講座を行っています。

- ・ 予防医療に関すること
- ・ 病気に関すること
- ・ 社会保障制度

《申込み方法》

登録ご希望の方は、所定の申請書に必要事項を記載の上、お申込みをお願いいたします。登録をされた方には、後日、登録されたご住所に会員証や講座案内を郵送させていただきます。講座は自由参加になりますので、ご興味がある講座を受講ください。

★平成 30 年度地域医療サポーター講座

日時：第 4 水曜日、13:00～（1 時間程度）

場所：人吉医療センター 3F 研修室

	開催日	内容（仮）	担当
平成 30 年	5月23日	認知症について	認知症看護認定看護師 山口看護師
	7月23日	未定	総合診療科 平賀医師
	9月26日	栄養と飲み込みについて	田口管理栄養士
	11月28日	感染予防について	感染管理認定看護師 別府看護師

※内容は変更する可能性もあります。変更等ある場合は、事前に連絡します。

※問い合わせ・申込み先

医療福祉連携室（0966-22-2191（内線 240））まで

「入退院時支援を開始します～全人的なケアを目指して～」

当院では、入院中の患者さんに対して、予定通りに治療をおこない、安心して退院していただくことができるように、入院時よりスクリーニングをおこない、考えられるリスクに対する支援に取り組んできました。

しかし、入院してから家庭環境や医療・福祉サービスの調整をおこなうことは、退院までの時間的な制約や、患者さん、ご家族の方の負担も大きい事が課題でした。この課題に対し、一部の診療科ではご自宅の環境を確認するなど入院前からの退院支援をおこなってまいりましたが、今年度から予定される入院患者さん全てに対し、スクリーニングをおこない、入院前から退院支援をおこなうよう取り組みを開始いたしました。

また、今までも必要と思われる患者さんに対して、外来で薬剤師や栄養士、社会福祉士など多職種が関わり支援をしてきましたが、全ての診療科で共通した評価尺度はなかったため、リスク因子の判断基準が統一されてい

ませんでした。今後、共通した評価尺度を用い、外来で身体的・社会的・精神的背景を含めた患者情報を把握し、褥瘡の危険因子の評価、栄養状態、内服状態の確認をおこない、多職種や入院病棟のスタッフと情報共有をおこなうことで患者さんを全人的に捉えたケアが提供できるのではないかと思います。

院内の多職種チームで打ち合わせをおこない、試行錯誤しながら取り組み始めたばかりです。より良い医療を提供するために、これから院内の職員だけではなく、患者さんやご家族の方にも協力をお願いすることがあると思います。

ご理解とご協力のほどよろしくお願い申し上げます。

入退院支援センター 看護師 山下 ルミ
社会福祉士 岡本 理恵

禁煙サポートします！ (断煙外来)

H30年5月31日(木)は世界禁煙デーです。日本ではH30年5月31日～6月6日(水)は禁煙週間とされています。今年度は、「2020年、受動喫煙のない社会をめざして～たばこの煙から子ども達をまもろう～」が禁煙週間のテーマとなっています。

日本人の三大死亡原因はがん、心疾患、脳血管疾患ですが、これらの病気の大きな原因のひとつがタバコです。また、現在ではタバコが原因で起こる慢性閉塞性肺疾患(COPD)も増加しています。タバコを吸わない人も受動喫煙によってタバコの健康被害を受けてしまいます。多くの喫煙者はタバコが体に悪いものと分かっているにもかかわらず。その理由はタバコに含まれるニコチンという成分が脳に作用してタバコがやめられない体になってしまうのです。

最近では加熱式タバコを使用される方も増えていますが、加熱式タバコも従来のタバコと同様にニコチンが含

まれているため、禁煙の効果はありません。また、加熱式タバコにも有害物質は含まれており、受動喫煙の影響から公共の場での使用は規制されるようになっていきます。今回は世界禁煙デー、禁煙週間にちなみ当院の断煙外来についてご紹介したいと思います。断煙外来は禁煙を支援する外来です。禁煙によって起こる離脱症状を軽減するため禁煙補助薬を活用しながら、患者さん一人ひとりにあった無理のない禁煙(断煙)ができるよう医師や看護師がサポートを行います。禁煙治療は一定条件を満たした喫煙者であれば医療保険を利用し治療を受けることが可能です。これまでにタバコをやめたいと考えたことがある方、迷われている方、以前禁煙に失敗したことがある方、一度断煙外来を利用し禁煙に挑戦してみたいかかでしょうか。

外 来 日：毎週火曜日(午前中) ※要予約
問い合わせ：人吉医療センター 予約センター
(TEL：0966-22-1900)

断煙外来 医師 黒川 博文

フットケア 研修会

海外では、「足病」というくくりの診療科がありますが、日本では、その病気によって、整形、血管、循環器、リウマチや膠原病、糖尿病、皮膚、形成、腎臓、泌尿器とさまざまな診療科とさまざまな職種が関わるフットケアの最前線、トピックスに関して、さまざまな医療従事者が勉強会を開いております。

熊本県は、中部と県南合わせて、4ヶ所で開催されており、今回は、基本的な爪切りと靴の選び方に関して、学会や医療機関で講師をされています、フットケアスペシャリストの竹永志保先生からの実技と講演でした。医師、介護士、理学療法士、看護師の全員がとても活発に活気のある勉強会となりました。

定期開催されておりますので是非ご参加下さい。

フットケア研修会参加者の感想

今回、実践フットケア研究会に初めて参加させて頂きました。

私は訪問看護ステーションに勤務しており 在宅で生活されておられる多くの方が「爪切り」に困っていらっしゃいます。

単純に爪切りと言っても 殆どの方が何らかのトラブルをお持ちで ほんやりとした対処方法しか行おう事しか出来ませんでした。

今回の研究会に参加し トラブル回避の靴選び 爪ケア

の基本をしっかり学ぶ事が出来 フットケアの大事さを改めて実感しました。

実技では道具の使い方も詳しく教えていただき技術の習得に繋がりました。

当ステーションでは 訪問リハビリも行っており セラピストと連携を図りながら 1人でも多く自分の足で歩き続けて行ける様 適切なケアを提供して行けたらと思います。

楽しく参加させて頂きありがとうございました。

訪問看護ステーション 3rd hand 看護師



新任研修医挨拶



4月より2年間人吉医療センターで研修をさせていただくことになりました、石内聡一郎と申します。私は宮崎の延岡という所出身で、この人吉の地と特に関係があるわけではないのですが、実習で来た際に当時の研修医の方々の救急外来での対応を見て、私もこうなりたいと思ったこと、そして病院の雰囲気も良かったということで当院での研修を決めました。

基幹型臨床研修医 石内 聡一郎



4月より2年間人吉医療センターで研修をさせていただくことになりました、耕 佳徹と申します。入社間もなくから救急当番でファーストタッチを任せられ、今研修させて頂いております整形外科でも積極的に手術に参加させてもらえたりと、大変充実した研修生活を送っております。研修医だからという扱いで

はなく現場では一人の医師として求められるので、自分自身いち早く応えたいというモチベーションを高く持つことができ、やりがいを感じております。皆様にご迷惑をおかけすることも多々あると思いますが、精一杯頑張りますので、ご指導ご鞭撻のほどよろしくお祈いします。

基幹型臨床研修医 耕 佳徹



研修医1年目の田中一仁と申します。出身は埼玉県で、大学は熊本大学を卒業しました。医師としての第一歩を人吉医療センターで踏み出せることが大変嬉しいです。学生時代にラフティングやマラソンで人吉を訪れ、その土地柄に惹かれて人吉での研修を選択させていただきました。特に温泉が素晴らしく、色々な種類の、しかも安い温泉に

いつでも行けるのは最高です。まだ仕事は始まったばかりで、わからないことだらけですが、非常に濃い時間を過ごしています。落ち着きのない人間なのでご迷惑をかけることも多いと思いますが、主体的に取り組んでいくこと忘れず、2年間過ごしていくつもりです。ご指導よろしくお祈いいたします。

基幹型臨床研修医 田中 一仁



研修医1年目の宮崎至です。4月より2年間、人吉医療センターでお世話になることになりました。大学の同級生が2週間オリエンテーションすると聞いていた中での、勤務翌日からの病棟業務や救急外来があり非常に驚きました。しかし、これから医師として働いていくのだと引き締めることができました。まだまだ覚えていないことがたくさんあり、先生方はじめ周りのスタッフにも迷惑をかけながら慌ただしい毎日を送っていますが、多くの事を吸収しながら過ごす日々はとても充実しており、

人吉医療センターで働くことができ本当に良かったと思っています。

人吉医療センターの救急外来は大変ですが、研修2年目の先輩方の迅速かつ的確な対応を見て、自分も早くそのような対応が出来るようになりたいと思います。謙虚な気持ちを忘れず励んでいきますので、今後ともご指導ご鞭撻のほどよろしくお祈いします。

基幹型臨床研修医 宮崎 至



鹿児島出身で久留米大学卒業の大西啓志朗と申します。4月から基幹型研修医として2年間人吉医療センターでお世話になります。国家試験に合格し、やっと医師になれたと思っていましたが、救急外来や病棟で先生方やスタッフの方々にご迷惑をおかけする日々を過ごし、まだまだ医師になったとは言えない、1日でも早く先輩の先生方のようになりたいなと気合が入っております。初めての人吉での生活は先輩方のご指導やちょっとした会話が日々勉強になっていて、とても刺激的な毎日を送らせても

らっています。特に救急外来での対応は、慌てている私とは違い、2年目の先輩方の的確で迅速な対応に感動し、来年は自分も先輩方のように頼もしくありたいと強く思います。はじめのうちは皆様にご迷惑おかけしていると思いますが、少しでも早くこの環境に慣れ、仕事を覚えて病院や人吉の地域に貢献できればと考えているので、ご指導ご鞭撻のほどよろしくお祈いいたします。

基幹型臨床研修医 大西 啓志朗

当院では総合診療医育成中です!

研修プログラム、日本プライマリ・ケア連合学会家庭医療専門医プログラムと総合診療専門研修プログラム、JCHO版病院総合医(Hospitalist)育成プログラムがあります。家庭医療専門医プログラムと総合診療専門研修プログラムは、初期研修修了後の後期研修(約3年間)で、家庭医療専門医や総合診療専門医を目指し、現在熊本大学医学部附属病院総合診療専門医プログラムの関連病院として2名が当院で研修し、当院の家庭医療専門医プログラムでは1名が熊本医療センターで研修を行っています。JCHO版病院総合医育成プログラムは後期研修修了後の研修(約2年間)で、地域医療や総合診療の実践を目指し、履修者の経験や希望に応じプログラム(研修期間や履修内容)を作成します。研修中や研修後に、資格取得や留学など希望があれば選択肢を提示し、研修修了後もさまざまな選択肢を提案できると考えます。いずれのプログラムにおいても募集継続していますので、ご相談下さい。

総合診療科 田浦 尚宏

JCHO版病院総合医(Hospitalist)育成プログラムとは何か?



研修医挨拶



基幹型2年目の内村竜太郎です。

2016年4月に当院に入職し、はや2年が経とうとしております。

この2年間での一番の大きな変化といえば、①結婚、出産(嫁が)②体重増加の2つが挙げられます。

『人吉の研修医はよく結婚して帰っていく』といった古くからの言い伝えがあるようで、当時は本当かよと疑っていましたが、私も同僚もまんまといった通りになっております。

残る砦はFなだ先生のみですが、彼が結婚をするのかは到

底想像もつきません。

2つ目の大きな変化は体重増加であり、入職時と比較すると約9kgの増量に成功しております。

『人吉の研修医はばんばんに肥えて帰っていく』といった古くからの言い伝えがあるようで、当時は本当かよと疑っていましたが、私も同僚もまんまといった通りになっております。

短い間でしたが、ありがとうございました。

また、機会があれば当院にて仕事をしたいと思っておりますので、その際はまたよろしくお願い致します。

基幹型臨床研修医 内村 竜太郎



まだ学生のころ、マッチングの面接を10分で終えてそのまま木村院長と夜中まで飲み歩いたのも今ではいい思い出です。長かった学生生活を終え、この病院で平成28年4月から医師としての仕事ははじまりました。救急外来や病棟業務であたふたしていた私を温かく見守ってくださった先生方・スタッフの皆さまには心から感謝申し上げます。楽しく2年間を過ごせたのも皆さまのおかげです。

また、クセの強い後輩たち、個性の塊だらけの同期の研修医

にもいろいろと助けてもらいました。ありがとう。今後の自分や彼らがどれだけ成長しているか楽しみです。

4月からは研修医ではなく総合診療科専攻医として、引き続き人吉医療センターでお世話になります。本来ならば大学病院に戻るのが一般的ですが、諸事情がありまして、。嘘です。自らの意思で残ります！

2年間大変お世話になりました。そしてこれから1年もよろしくお祈りします。

基幹型臨床研修医 平賀 円



もともと地元があさぎり町であり、木村院長に拾って頂き、2年間人吉医療センターで研修することができました。右も左もわからない状態での救急外来、長く実習から離れており他の研修医よりも使い物にならなかったはずなのですが、木村先生をはじめ上級医の先生方の根気強い指導のおかげで、なんとか研修を終了す

ることができました。4月から熊本大学で整形外科医としての第一歩を踏み出します。私の医師としてのルーツは間違いなくここ人吉であり、その誇りを胸に精進していきたいと思っております。4年後にご縁があれば戻って参りますので、そのときはまた迎え入れてくださると嬉しいです。2年間御世話になりました。

基幹型臨床研修医 鮎田 貴也

新任STAFF紹介



くろだ たいげ 黒田 大介 (外科・医師)

最終卒業校：熊本大学

趣味：音楽鑑賞

モットー：ケ・セラ・セラ

自分の性格：小さいころからすぐにAB型を指摘されるような性格です
自分のコマーシャル：研修医2年間を過ごさせていただいて以来の勤務となります。その恩返しをするべく、一生懸命診療に当たらせて頂きます。



しらい ゆうた 白石 裕大 (外科・医師)

最終卒業校：久留米大学

趣味：バドミントン

生活信条：果報は寝て待て

自分の性格：どこでもいつでも寝れます
自分のコマーシャル：不慣れな事が多く、皆様にはご迷惑をおかけすると思っておりますが、1年間ご指導宜しくお祈り致します。



ありむら ひとし 有村 仁志 (整形外科・医師)

最終卒業校：熊本大学

趣味：音楽鑑賞

好きな言葉：努力

自分の性格：優柔不断
自分のコマーシャル：地域の外傷受入の一端を担えるよう頑張りたいと思っております。



まえだ かずや 前田 和也 (整形外科・医師)

最終卒業校：熊本大学

自分の性格：良くも悪くもマイペース

自分のコマーシャル：充実した研修ができた人吉に戻ってこれてうれしいです。またよろしくお祈りします。



くろかわ ひろふみ 黒川 博文 (循環器内科・医師)

最終卒業校：宮崎大学

趣味：スポーツ観戦、旅行

自分の性格：マイペース

自分のコマーシャル：水俣医療センターから異動してきました。当院は症例豊富な施設なので、自分のスキルを磨く絶好の機会だと思っています。よろしくお祈りします。



えぐち まさひろ 江口 真裕 (放射線科・医師)

最終卒業校：鹿児島大学

趣味：モータースポーツ

好きな言葉：「忍耐」

自分の性格：怒られてもしよげない
自分のコマーシャル：放射線科に入局後、熊本市内で3年、八代で1年勤務しました。新たな環境に早く慣れ、診療のお役に立てればと思います。



いらは さとし
伊良波 諭 (眼科・医師)

最終卒業校：熊本大学
趣味：フットサル、バドミントン
好きな言葉：人間万事塞翁が馬

自分の性格：まじめ
自分のコマーシャル：頑張りますのでよろしくお願ひします。



いのうえ ひろたか
井上 博貴 (脳神経外科・医師)

最終卒業校：熊本大学
趣味：テニス、落語、登山、ラジオ
モットー：全力

自分の性格：体力には自信があります。
自分のコマーシャル：小・中と人吉で育ったので、また人吉で働けることになり大変うれいします。よろしくお願ひします。



はやかわ かずみ
早川 香菜美 (総合診療科・医師)

最終卒業校：自治医科大学
モットー：良いものを安く

自分の性格：よく冷静やクールと言われますが、心のうちではわりと焦っていたりします。
自分のコマーシャル：まだまだ未熟な私ですが、これから地域の皆様のために少しでもお役にたてるよう努力していきます。よろしくお願ひします。



いしうち そういちろう
石内 聡一郎 (基幹型臨床研修医)

最終卒業校：熊本大学
趣味：卓球、ゲーム
モットー：継続は力なり

自分の性格：まじめ
自分のコマーシャル：出身は宮崎県の延岡市です。入社後はランニングが筋トレを始めてみようかなと思ってます。2年間よろしくお願ひします。



たにやま よしゆき
耕 佳徹 (基幹型臨床研修医)

最終卒業校：熊本大学
好きな言葉：雪に耐えて梅花麗し
自分の性格：慎重、明るい

自分のコマーシャル：小さいころからずっとサッカーをしてきたので、体力には自信があります。早く一人前になれるよう頑張りますので、よろしくお願ひ致します。



たなか かずと
田中 一仁 (基幹型臨床研修医)

最終卒業校：熊本大学
趣味：水泳、音楽、読書
モットー：やりたいことはできるだけやる

自分の性格：楽天的
自分のコマーシャル：医師としてのスタートを人吉の地で切れることが、とてもうれいします。



みやざき いたる
宮崎 至 (基幹型臨床研修医)

最終卒業校：長崎大学
趣味：バスケットボール、バイク
好きな言葉：雲外蒼天

自分の性格：人見知り
自分のコマーシャル：いつも笑顔で周囲の人に愛される人を目指します。



おおにし けいしろう
大西 啓志朗 (基幹型臨床研修医)

最終卒業校：久留米大学
趣味：バドミントン
モットー：日々楽しく

自分の性格：明朗活発
自分のコマーシャル：大学時代はバドミントン部に所属して、体力・精神力には自信あります。よろしくお願ひします！



いのうえ よしはる
井上 義晴 (放射線科・診療放射線技師)

最終卒業校：中央医療技術専門学校
趣味：スポーツ (バレー・トライアスロン)、釣り
モットー：患者さんは自分の親兄弟として対応

長所：周りに気配り
短所：短気
自分のコマーシャル：何事にも諦めずチャレンジすることをモットーにしています。



しもかわ よしかず
下川 祥和 (薬剤科・薬剤師)

最終卒業校：長崎国際大学
趣味：F1観戦
好きな言葉：一生懸命

自分の性格：マイペース
自分のコマーシャル：地元で働けることを嬉しく思っています。早く仕事を覚えて、一人前の薬剤師に慣れるよう一生懸命頑張ります。よろしくお願ひ致します。



なかがわ ようへい
中川 陽平 (薬剤科・薬剤師)

最終卒業校：崇城大学
趣味：料理
モットー：笑顔

自分の性格：マイペース
自分のコマーシャル：3月に大学を卒業したばかりで薬剤師として働けることを大変うれしく思っています。早く仕事に慣れて患者様のお役に立てるように頑張ります。



はま ゆいこ
馬場 結子 (薬剤科・薬剤師)

最終卒業校：崇城大学
趣味：お菓子作り、読書、走ること
嬉しかったこと：塾での教え子が第一志望の学校に合格した

ことが嬉しかったことの1つです。
長所：目標を決めてコツコツ行動できる。
自分のコマーシャル：不安もありますが、1日でも早く仕事に慣れ、頼って頂けるよう薬剤師になるよう一生懸命頑張りたいと思います。よろしくお願ひします。



まつもと なつき
松本 夏生 (薬剤科・薬剤師)

最終卒業校：崇城大学
趣味：ジグソーパズル
モットー：笑顔

自分のコマーシャル：中学生まで人吉に住んでいた、人吉に帰ってこられて嬉しく思っています。一日でも早く仕事に慣れるよう頑張ります。よろしくお願ひします。



もりお みさと
森尾 美里 (薬剤科・薬剤師)

最終卒業校：崇城大学
趣味：音楽鑑賞
好きな言葉：継続は力なり

自分の性格：優柔不断
自分のコマーシャル：何事にも積極的に取り組み、日々成長できるよう頑張ります。よろしくお願ひ致します。



かい ゆりか
甲斐 友莉江 (5階病棟・看護師)

最終卒業校：熊本中央高等学校
趣味：スポーツ観戦
好きな言葉：笑う門には福来たる

自分の性格：好奇心が強い
自分のコマーシャル：なんにでも興味があります。早くいろいろなことを覚えて、お役に立てるよう日々努力していきます！よろしくお願ひします。



ふじい りみ
藤井 梨未 (5階病棟・看護師)

最終卒業校：出水中央高等学校
趣味：スポーツ
好きな言葉：ありがとう

自分の性格：落ち着いて行動できる
自分のコマーシャル：5年間の皆勤賞をいただき卒業しました。社会に出て楽しく沢山吸収しながら頑張っていきたいと思ひます。よろしくお願ひします。



うちぬの ゆい
内布 柚葉 (5階病棟・看護師)

最終卒業校：日南看護専門学校
趣味：ソフトボール
嬉しかったこと：熊本に帰ってこれた事

長所：元気がよく、明るい
短所：元気がよすぎる所



たにがわ ゆきひろ
谷川 幸弘 (5階西病棟・看護師)
最終卒業校：福岡看護専門学校
趣味：ランニング
好きな言葉：一所懸命
自分の性格：猪突猛進



ながみ りさ
永峰 里紗 (5階西病棟・看護師)
最終卒業校：八代看護学校
趣味：DVD鑑賞、散歩
好きな言葉：克己心

自分の性格：ダメな感情は顔に出してしまうけど、嬉しくても上手に表現できない。人見知り。
自分のコマースナル：2人の息子が毎日振り回されています。笑顔を忘れず、自分のできることを一つ一つ丁寧に頑張ります。よろしくお願いします。



やなぎはら れいな
柳原 玲那 (6階病棟・看護師)
最終卒業校：九州中央リハビリテーション学院
趣味：買い物
モットー：笑顔

自分の性格：心配性
自分のコマースナル：地元で働けることを嬉しく思います。初心を忘れず一生懸命頑張りたいと思います。よろしくお願いします。



いしだ あい
石田 愛恵 (6階病棟・看護師)
最終卒業校：健康保険人吉看護専門学校
趣味：旅行
モットー：自分に起きた良い事、悪いことも感謝をして乗り切る

長所：笑顔
自分のコマースナル：人吉高看を卒業して9年、当院は、学生時代大変お世話になった病院です。緊張していますが、自分らしく患者さんと関わりたいと思っております。看護師として成長していけるよう頑張りますので、よろしくお願いします。



こまつ ちくん
小松 千春 (6階病棟・看護師)
最終卒業校：出水中央高等学校
趣味：ショッピング
好きな言葉：笑顔を忘れず、物事を前向きに考える

自分の性格：人見知りですが、慣れるとよくしゃべります
自分のコマースナル：10年ぶりに故郷の人吉に戻ってきました。新生活に嬉しさと楽しみでいっぱいです。人吉医療センターのスタッフとして一生懸命頑張りたいと思います。



たやま ちあき
田山 千陽 (6階病棟・看護師)
最終卒業校：出水中央高等学校
趣味：ドラマ鑑賞
好きな言葉：笑顔

自分の性格：明るい
長所：ポジティブ
短所：優柔不断
自分のコマースナル：早く仕事に慣れるよう頑張ります。よろしくお願いします。



おかはら なおと
岡原 尚己 (7階病棟・看護師)
最終卒業校：小林看護医療専門学校
趣味：バレーボール
好きな言葉：為せば成る

自分の性格：常に前向きで真剣です
自分のコマースナル：新たなスタートをきるにあたり、患者さんと患者さんのご家族に安心して頂けるような仕事ができる看護師になりたいと思います。よろしくお願い致します。



とよなが さやか
豊永 さやか (9階病棟・看護師)
最終卒業校：八代看護学校
趣味：長風呂
好きな言葉：雲外蒼天

自分の性格：明るい、大雑把
自分のコマースナル：目の前のことを一つ一つ丁寧に頑張っていきたいです。よろしくお願いします。



なかしま あい
中島 あい (9階病棟・看護師)
最終卒業校：出水中央高等学校
趣味：読書、ピアノ
好きな言葉：ありがとう

自分の性格：おおらか
長所：よく笑う、世話好き
短所：不器用
自分のコマースナル：一生懸命頑張ります、よろしくお願いします。



よしだ ゆうこ
吉田 ユ子 (ICU・看護師)
最終卒業校：鹿児島県立保健看護学校
趣味：旅行
モットー：一日一日大切に

自分の性格：せっかち
自分のコマースナル：ずっと鹿児島で勤務していました。早く人吉の言葉にも慣れるように頑張りたいと思います。ご指導よろしくお願い致します。



ののもと あき
野本 実希 (医事課・クラーク)
最終卒業校：加治木高等学校
趣味：ドライブ、愛犬と散歩
好きな言葉：一期一会

自分の性格：明るい、天然
自分のコマースナル：仕事に慣れるように頑張ります、気軽に声をかけて下さい。よろしくお願いします。



かたやま ともこ
片山 朋子 (外来・看護師)
最終卒業校：九州がんセンター附属看護学校
趣味：読書、舞台観劇
モットー：前向き

長所：マイペース
短所：マイペース
自分のコマースナル：JCHO九州病院から転勤になりました。早くこちらの病院の風土に慣れ、皆様のお役に立てるように頑張りたいと思います。



さごがしら ゆみ
迫頭 友美 (リハビリテーションセンター・理学療法士)
最終卒業校：熊本リハビリテーション学院
趣味：ヨガ (昨年から始めたばかり)
生活信条：健康第一

自分の性格：マイペース
自分のコマースナル：天草から来ました、早く慣れて貢献できるように頑張ります。



かたがき まさる
片岡 士 (リハビリテーションセンター・言語聴覚士)
最終卒業校：熊本保健科学大学
趣味：フットサル
モットー：百聞は一見にしかず

自分の性格：自分の気持ちに正直
自分のコマースナル：何事にも向上心を持って取り組んでいきます。よろしくお願いします。



まつむら あや
松村 亜夜 (経理課・事務員)
最終卒業校：熊本県立大学
趣味：ヨガ
生活信条：健康第一

自分の性格：のんびりした性格なので、もっとしっかりしないと！と思っています
自分のコマースナル：2年ぶりに戻ってきましたが、忘れてしまっていることが多々ありますので、みなさん色々教えてください。よろしくお願いします。



つげ くにひろ
告 邦広 (経理課・技能員)
最終卒業校：人吉高校
趣味：機械いじり、孫いじり
嬉しかったこと：心臓手術を乗り越え、病院の方々や家族の

支えがあり今があること
自分の性格：やりぬく強い性格です
自分のコマースナル：旅行が好きです。時間ができると家より外がよく、出かけることが多いです。体調をもっと良くし、強くし、サイクリングで残り半分の日本一周が夢です。

お花見に参加して

今年度、JCHO 九州病院からこちらの人吉医療センターに転勤になりました。当院職員となった初日 4月2日には、新人の方々と共にオリエンテーションを受けさせて頂きました。当院の歴史を知り、伝統ある当院で従事できることへの心構えを新たにすると共に、医療安全や感染予防、BLS 研修などの講義で初心に立ち返ることができました。

夕刻から行われた花見の席にもお誘い頂き、美しい葉桜と月の下で美味しいお酒を頂けるという充実した時間を過ごさせて頂き、会にご尽力頂いた方々に感謝いたします。病院は他職種が連携して働く場ではありますが、部署が異なるとなかなか交流を持つ機会がありません。トウはたっていますが、慣れない新人である私には花見の席は良い交流の場であり、あたたかく迎えてくださった皆さんに感謝いたします。

至らない点も多いかと思いますが、今後とも宜しく願いいたします。



外来看護師長 片山 朋子

ふれあいの記 ～院内レクリエーションの記録～

院内レクリエーションが誕生して、今年で13年を迎えました。

傾聴という言葉を理解することの難しさ、私なりに美しい響きを持った言葉を選んで使うと同時に、適切な言葉を正確に使う事を意味しているのではないかと。それは相手を傷つけない優しい配慮を含んだ言葉でもあり、そのためには沈黙が必要となってきます。

それは、押し黙った沈黙ではなく、実り豊かな話さざるを得なくさせるような準備の時間であり、聞くべき“心の耳”を澄ます時間でもあるのです。微笑みとともに、美しい沈黙を育てることは、言葉に先立つものとしての

沈黙を大切にしたいと思っています。

昨年度に引き続き、平成29年4月から平成30年1月までのレクリエーションの記録【ふれあいの記】と写真集【ふれあいの日】をそれぞれ1冊の本にまとめました。

インフルエンザ流行拡大のため、レクリエーションは1月中旬から3月までお休みいたしました。春の訪れとともに“山笑う”という春の季語があります。たとえば“病院笑う”という言葉があったらどうでしょう。なんだか楽しくなってきませんか。皆様のまわりのすべてが微笑んでくれるといいですね。

ボランティア 梶原 章子



職員旅行

in 門司

H30/4/12～4/13 職員旅行へ行ってきました。1日目は門司までバスで向かい、その後、友達と船で唐戸市場へ行きました。お昼ご飯にお寿司を食べ、唐戸市場の近くの遊園地で空中ブランコなどに乗って遊びました。その頃、巖流島では研修医の木下先生がお昼寝をしていて迷子になってしまい、危うくフェリーに乗りそこねそうになるという珍事件が起きていたそうです。夜の宴会はいろいろな部署の方と交流ができる機会となりとても有意義な時間となりました。



2日目はふぐ物産館や、レンタル自転車で長府庭園にも行き、お土産を買ったり写真を撮ったりしました。最初はとても緊張していましたがとても楽しい2日間を過ごすことができ、職員旅行に参加してよかったです！

6階看護師 柳原 玲那

入院時食事療養費 変更のお知らせ

- 平成30年度から、一般所得の方は1食360円から**460円**になります。

1食あたり 640円



※低所得者除く
栄養管理室



4月の勉強会報告

4月20日(金)人吉球磨地域周産期医療講演会

「胎児心拍数モニタリングと脳性麻痺」

国立大学法人宮崎大学 学長 池ノ上 克先生

